

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)	良く なっている	百貨店（営業担当）	単価の動き	・気温の低下時期が遅く、実需がずれ込んでいるため今月に需要が集中している。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・11月に開催したグレード1競走において、携帯等の電話による投票売上及び協力他場の売上が多く確保できている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街のイベント時は来客数が増加する。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月は前年同月比で100%を超えている店舗が半数あり、先月よりは良い状況である。寒くなってアウトターが売れていることもあるが、近隣のアウトレットの影響を強く受けていたテナントが若干持ち直し、客足が戻りつつある。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・先月に比べて冬の気配が高まり、気温が下がって高額品のコートやジャケットが好調で、ウォームビズ関連商品もかなり売れている。総選挙告知直後は客足が少し減ったが、今月は前年をかなり上回った数字で推移している。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・当店の閉店発表の後、にわかに来客数が増加し、特定アイテムの先買いや、買いだめの需要により堅調な売上を維持している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・気温低下に伴い、機能下着や冬支度商品の動きが良くなっている。ウォームビズでの「節電」や「健康」といったテーマの商品の売行きが良い。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価が若干上向きになっている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・例年の傾向で、年末が近づくに連れてまとめ買いをする客が増えてきている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・気温が下がったこともあり、中華まんの販売量が増えた。
		住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・特別販売セールを行ったので来客数が増加した。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・要因ははっきりしないが売上は順調に推移している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・政権交代に期待するが以前よりは景気が良い。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・宿泊者数、レストラン客数が少し増えてきている。
		通信会社（工事担当）	販売量の動き	・申込件数が前月より増加している。
		テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・冬季イルミネーションイベントを中旬から開催した効果で順調に来園者数が伸びている。秋のイベント期間は競合する施設やイベントによるマイナス効果で来園者数が伸びなかったが、各種広報展開によるリピーター促進と新たな来園者の掘り起こしを期待している。
		その他レジャー施設（アミューズメント）	来客数の動き	・同居する映画館で話題性のある作品公開が続いており、それをきっかけに来客数が前年比20%近く増えている。特に若者層の来店が多くなっていることで、当店の商品にも好影響が出ている。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・住宅の引き合いや成約件数が増加している。建築主は消費税が増税される前に建築をしたいということと、駆け込み需要による物価高がおこる前という思惑がある。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・客単価が下がっている傾向が続いており、来街者数も落ち込んでいる。	
	商店街（代表者）	お客様の様子	・秋の観光シーズンも大詰めに観光客数は増えたが、買物をする人が少ない。	
	一般小売店〔茶〕（経営者）	来客数の動き	・先月の売上が非常に悪く、その反動で今月はやや売上が良い状態であるが、累計では前年を割っている状態で先行きは不安である。	
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	お客様の様子	・客が料理をしなくなり、野菜や魚類など素材の販売量が減少しているため、惣菜関係に力を入れなくては行けない。得意先の飲食店は忘年会予約が昨年と変わらない様子である。	
	一般小売店〔酒店〕（経営者）	販売量の動き	・相変わらず料飲店の売上が芳しくなく、客はなかなか外食などをしなくなっている。	

百貨店（営業担当）	お客様の様子	・11月末にカード優待20%引きでの販売セールを行っているが売上は良くない。12月末から1月に行う一部のブランド品のプレクリアランス待ちの客が増えている。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・歳暮のピークが近づいてきたが、前年を下回っている。総選挙告知や前年の大手企業の業容縮小も要因にあるが、個人客の件数の絞込みと単価低下が顕著である。その反面、早い冬型への気候推移はファッションや寝具等へは追い風となっている。
百貨店（売場担当）	販売量の動き	・11月前半にアウターがようやく動き、主力の衣料品が全般に好調である。防寒雑貨やショートブーツの売上も安定しており、後半は優待会などの販売促進による売上の維持が大きい、なんとか前年並みで推移する見込みである。
百貨店（販売担当）	販売量の動き	・先月は気温が高く冬物の動きが不調だったが、今月は気温の低下とともに非常によく動いた。客単価も前年を2ポイント上回る結果となっている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価に変化はない。
スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年の98%で推移している。
スーパー（店長）	販売量の動き	・ここ数か月、客1人当たりの販売点数が昨年より落ちている。
コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・製造業の業績悪化で工場近辺に立地する店舗の来客数が減少している。人員整理や工場閉鎖・規模縮小の影響が出ている。
衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・昨年に比べて就職活動中の学生の動きは良くないが、11月はイベントによる来客数は増加している。
家電量販店（店長）	お客様の様子	・大手家電メーカーに関する報道が流れており、不安感が煽られ販売につながらない。
乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・サービス入構は好調であるが、販売量は前年の75%で推移している。
その他専門店〔海産物〕（経営者）	販売量の動き	・11月はカニのシーズンになり客は増えたが、例年に比べ来客数、販売量、購買単価ともに低くなっている。
その他専門店〔ファッション雑貨〕（従業員）	来客数の動き	・土日の集客はあるが、目玉商品だけが動いている。
その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	お客様の様子	・休日は来客数は多いが、金を使わないで時間を過ごす時間消費型の傾向が強く、買上単価の低い状態が続いている。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末の予約は増えているが、平日の来客数は少ない。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	お客様の様子	・客の購買量、単価は以前と変わりなく安定しており、今月は紅葉で例年通り週末は客が多い。
観光型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今月の売上は前年を7～8ポイント下回る見込みであるが、これは婚礼売上が要因であり、その他の部門では前年並みか前年を上回っている。
都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・忘年会の予約は例年並みに入っているが、若干ホテルの宴会場から居酒屋に流れている傾向がある。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・総選挙の影響で具体的な景気対策が動かない。自動車や家電業界の低迷などもある。
タクシー運転手	来客数の動き	・夕方までの乗車率に変化はないが夜が悪い。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・賞与月を控えているので客の購買意欲やサービス・商品の選別におけるし好が低下してはいない。客の個別事情にもよるが、サービスの追加やアップグレードする人もいる。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・全体の動きが少ないなかで、客の低価格志向が完全に定着している。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・来館者数、購買額、購買単価ともに3か月前と変わらず10%落ちている。
テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・団体客の減少傾向が続いている。
ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・天候に恵まれ好調である。近郊のゴルフ場も同様であるが、集客争いで単価が下がっている。

	その他サービス [介護サービス] (介護サービス担当)	お客様の様子	・福祉という職業柄、来客数から景気の判断はできないが、客本人やその家族の様子や話のなかで景気の変化はうかがえない。
	設計事務所 (経営者)	競争相手の様子	・同業者の受注状況は、受注増の会社と現状維持が精一杯の会社とバラつきがあり、受注状況は改善されていない。
	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・客は単価が低い方を選び、出費を抑える傾向が続いている。
	設計事務所 (経営者)	来客数の動き	・古い木造住宅の耐震診断や耐震補強計画の相談はあるが、なかなか収益に結び付かない。
	住宅販売会社 (販売担当)	単価の動き	・灯油価格等は高値のまま冬季に入り、光熱費の負担が家計を圧迫している。円も下がり気味の傾向にあり、値下がりの期待も薄い。お歳暮商戦に入ったが、地元百貨店の売れ筋相場も昨年並みとの報道もされている。
	住宅販売会社 (営業担当)	お客様の様子	・客の様子や来客数などから変動の見込みはない。
やや悪くなっている	商店街 (理事)	販売量の動き	・11月初旬から商店街での売り出しがあるが、客の財布のひもは固く、買上点数は減少している。
	商店街 (代表者)	単価の動き	・11月の売上は悪くなかったが、衆議院解散で極端に落ちて先行きが不安である。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・来客数がかなり減ってきている。飲食店の常として朝の時間帯は固定客で占められているにもかかわらず、その数が減り、昼の時間帯にも景気の悪さの影響が出てきている。
	商店街 (代表者)	販売量の動き	・11月に入っても客の購買意欲は感じられず、販売量・金額とも低迷している。
	一般小売店 [印章] (経営者)	来客数の動き	・駅再開発による駅支店閉店のため、駅近隣の客には年賀状印刷注文を本店でお願いしているものの、注文の減少は免れない。
	百貨店 (売場担当)	販売量の動き	・仏具などは売れているが、単価の高いものは売れない。
	スーパー (店長)	来客数の動き	・来店頻度が前年割れしている自店だけではなく、会社全体も悪くなっている。
	スーパー (業務開発担当)	単価の動き	・競合対策だけでなく生鮮食品を始め全体的に単価が低下するとともに、客単価も下がり年末に向け厳しい状況が続いている。
	スーパー (販売担当)	来客数の動き	・冷え込みが厳しくなり、開店時の出足が悪く来客数も減少している。
	スーパー (管理担当)	来客数の動き	・来客数が減少したままである。
	コンビニ (エリア担当)	単価の動き	・先月末から今月にかけて単価の安いプライベートブランドの売上が良かったが、そのせいで客単価が落ちている。安い商品を多数買ってもらえたらいいが、思惑通りにはいかない。
	コンビニ (エリア担当)	来客数の動き	・来客数は増えず、単価も減少傾向である。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・世間の雰囲気は緊縮の方向に向いている。
	衣料品専門店 (地域ブロック長)	単価の動き	・来客数は増加しているが、買上点数と単価は低下している。
	家電量販店 (店長)	販売量の動き	・テレビとレコーダーの需要回復傾向がみられず、パソコンも新しいOSの発売による盛り上がり期待したが低調である。生活家電は堅調であるが大幅な伸びはない。
	家電量販店 (企画担当)	来客数の動き	・来客数が減少しており、来店しても購入を悩む客が多い。
	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・11月の販売量は前年比72.4%、前々年比76.8%と大変厳しい状況となっている。
	乗用車販売店 (副店長)	販売量の動き	・政局が不安定であることと、諸外国との外交問題がネックとなっている。
一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・最近計算をしつつ飲食をする客が増えている。今までも大雑把に計算していただろうが、携帯電話等を使用して注文止めをしている。これまではあまり見受けられない状況なので、組単価の落ちこみも含め営業が難しくなっている。	
一般レストラン (エリア担当)	来客数の動き	・夜の客数の減少が激しく、繁華街の寒さと静けさをとても感じる。	

		一般レストラン (外食事業担 当)	来客数の動き	・平日と日曜日の午後9時以降の来客数が減少し、金曜日の売上も良くない。
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・山陰地区への観光客の入込は前年を下回る水準で推移している。一般ビジネス客の動きも前年に比べ3%程度減少している。
		旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・これからカニなどの冬の商戦が始まるが、その前に総選挙があるので、旅行業界にとって大ピンチである。
		タクシー運転手	来客数の動き	・運行回数が減少し売上も落ち、特に夜は客が少ない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会はまだ始まらない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・不景気な風が街に流れている。
		通信会社(広報 担当)	お客様の様子	・増税や株価低迷、社会・政治情勢が影響しているか定かではないが、ぜいたく品より必需品の購入割合が高くなっており、特価品が出ると朝早く並んで購入する傾向が見受けられる。
		通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・冬商戦の本格的な動きが12月以降のため11月は厳しい状況である。
		住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・競争の激化は当然であるが、利益度外視的な状況も出ている。仕事さえあれば良いという業者までいる状況が見受けられる。
	悪く なっている	一般小売店〔紙 類〕(経営者)	来客数の動き	・観光シーズンであるが、来客数は減少している。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・歳末ギフトも早期展開しているが動きが鈍い。賞与の有無、あっても非常に少ない状況で消費マインドが冷え切っている。
		スーパー(財務 担当)	来客数の動き	・大手同業他社の異常な低価格競争と販売促進の強化により、既存店来客数の前年割れが続いている。
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・前年を大きく下回ることが多く、単価も低い。デフレで小売店は実販売価格を値上げできず、メーカーの度重なる値上げで利益も圧迫され青色吐息である。
		自動車備品販売 店(経営者)	販売量の動き	・前年比75%で最悪な状況である。
		その他専門店 〔時計〕(経営 者)	来客数の動き	・例年11月は売上が下がるが、今年の前月比はここ3年間で最低を記録しそうである。宝飾品の売上が下がるのは理解できるが、必需品に近いメガネの売上が悪い原因がわからない。
		その他専門店 〔布地〕(経営 者)	来客数の動き	・政治の不安定さが要因の一つかもしれないが、冬支度の時期なのに客足は鈍い。
		美容室(経営 者)	来客数の動き	・11月の来客数や売上の落ち込みが例年に比べて激しい。
		美容室(経営 者)	競争相手の様子	・三連休があり土日の客の動きが悪い。
企業 動向 関連	良く なっている	輸送用機械器具 製造業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・新車の立ち上がりがあり忙しい。
(中国)	やや良く なっている	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・期間をかけて営業していた大型物件が受注につながっている。ただし工期が重複し、技術者不足で新規物件の受注に不安がある。
	変わらない	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・業界全体の景気が悪い。
		化学工業(総務 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・依然として円高の影響による競争力の低下が収益に大きく影響している。
		一般機械器具製 造業(経理財務 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・国内販売状況は引き続き低調である。
		輸送用機械器具 製造業(経営企 画担当)	受注量や販売量 の動き	・主要客から国内受注内示が来るたびに下方修正されている。また中国の減産も激しくなっている。
		建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・近隣の事業所の廃止、百貨店の撤退話もあり景気は良くない。
		通信業(営業企 画担当)	取引先の様子	・情報セキュリティ製品照会の評判は良いが、導入については費用面から商談が保留となっている案件が7割程度となっている。
		通信業(営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・ネットワークの新規申込が伸び悩んでいる。通信機器の更改も見送るケースが多く販売成果が伸び悩む。

	金融業（自動車担当）	取引先の様子	・クリーンディーゼルエンジンの新型車の受注が好調であり、自動車部品メーカーの操業は徐々に高まっている。しかし既存車種の販売が伸び悩んでいるため、会社全体の生産水準はほぼ前年並みに止まっている。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・大多数の企業は景気が良くなっているとは捉えていない。近年は受注環境が厳しいなか、経費削減により何とか経営を継続している状況である。景気の影響が大きい小売やサービス業は、直近3か月で取引先の業況に影響されることはなく、景気は変わっていない。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数と成約件数はほぼ変わらない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・どの業種も停滞感が数字に出ている。各業種、各事業主はよく健闘しているものの業績に結果が表れていない。現状では頭打ちの感が強い。	
やや悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・10月と7月を比較すると水揚げ数量が655トンの減少、水揚げ金額は5,760万円の増加である。10月単月前年比は水揚げ数量が2,000トンの減少で昨年の36.1%、水揚げ金額は2億6,100万円の減少で昨年の67.4%となっている。	
	化学工業（経営者）	取引先の様子	・取引先の業況について、特に中国向け輸出の減少、中国工場の減産による下方修正等の話題が散見されるようになっている。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・好調だった生産も受注の谷間と工事案件受注が重なり生産量がやや減少してきている。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・中国経済の減速、欧州の金融・財政危機が依然深刻で需要増の手ごたえはない。	
	鉄鋼業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・国内需要水準が低い状況下、安価な海外製品流入及び国内メーカーも基調をそろえる動きがみられ、一層のデフレ感がある。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車産業に関連する製品の販売減少が激しくなっている。	
	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前に比べて工作機械業界からの受注量が半減しており、非常に厳しくなっている。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注単価、受注量ともに低下傾向である。長引く円高、対中国への輸出の大幅減少が小企業を直撃している。疲弊している製造業に追い討ちをかけるように大手企業の生産調整の影響を受け前途多難である。	
	輸送業（業務担当）	取引先の様子	・大口客の業績の悪化が継続しているのに加え、年末を控えて荷動きが増加してこない。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・個人発送の持ち込みが大きくなり、会社関係は前年を維持しているが落ち込みは顕著である。	
	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・客の人員整理等がある。	
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・クライアントの受注量減少傾向が各業界から出ており、年末にかけ下方傾向である。	
	悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	取引先の様子	・取引先の売上が落ちている情報が多数ある。
その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）		受注価格や販売価格の動き	・石油値上げに関連して材料関係の値上げが相次いでいるが、商品の値上げは不可能な状況であり非常に厳しい。	
雇用関連 (中国)	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・退職者の補充ではなく純増のための求人が増加しつつあるが、それが特定の業界に限定されたものではない。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・製造業からの求人依頼が相変わらず鈍く、例年であれば発生する年末までの短期需要も今年は低調である。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・特に目立った活発な動きはない。
		求人情報誌製作会社（採用支援担当）	求人数の動き	・2014年度の新卒採用は昨年度を上回る勢いであるが、直近では採用凍結などの景気悪化の影響を受けた事象が起き始めている。
	職業安定所（産業雇用情報担当）	求人数の動き	・新規求人数は3か月前と比べ微増状態であり、あまり変化はない。	

	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・有効求人倍率が5か月連続で1倍を超えているが、新規求職者数は3か月前より20.4%増加しており、景気が上向いているとは言えない。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	それ以外	・衆議院の解散が決まり、今後の見通しが明確になるまで市場は様子見の状況になっている。
	その他雇用の動向を把握できる者〔労働機関〕（職員）	求人数の動き	・学校の耐震工事等の公共事業が活発な建設業とテレフォンオペレーターの派遣業の大量求人があったサービス業で求人数が増加となったが、電気機械製造を中心に製造業が低調なことから求人全体では横ばいとなった。
やや悪くなっている	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・抵触日対応・労働者派遣法改正・労働契約法改正を見据えて動いている企業が多く、受注は減少傾向である。
	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・企業側の求人に対して求職者の反応が鈍い。
	求人情報誌制作会社（サイト運営担当）	採用者数の動き	・2014年度新卒採用に積極的な企業が多い。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・ハローワーク求人申込窓口で、求人票の「賞与」欄の項目に「なし」と書く事業者が増えている。特記事項欄に「業績次第ではあり」と付け加えるところもある。実際に求人を訪れた事業者の話では、「賞与、昇給なしでも人が来てくれるのか」と驚いていた。それだけ求職が難しくなっている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は前年比0.05ポイント低下で17か月ぶりに悪化している。従業員1,000人以上の企業の求人は計59人と前年同月に比べ約7割ダウンしており、長期的な影響が危惧される。
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数が3か月前と比べ、前年同月比で伸びが落ち込んでいる。
悪くなっている	—	—	—